

Dell Storage Integration Tools for VMware

バージョン 4.1

管理者ガイド

メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

目次

前書き	0
リビジョン履歴.....	4
対象読者.....	4
関連する出版物.....	4
デルへのお問い合わせ.....	5
1 DSITV のインストール	6
インストール要件.....	6
DSITV の導入.....	6
DSITV のセットアップ.....	7
DSITV 仮想アプライアンスの時刻設定.....	7
DSITV へのログイン.....	8
DSITV の設定.....	8
DSITV のアップデート.....	9
DSITV 現在のバージョンの表示.....	10
DSITV のアップデートの確認.....	10
DSITV へのアップデートのインストール.....	10
ダークサイトにおける DSITV のアップデート.....	11
DSITV の再起動.....	12
2 Replay Manager Service for VMware	13
RMSV のデータ移行.....	13
RMSV の設定.....	13
3 Dell Storage vSphere Web Client Plugin	15
Dell Storage vSphere Web Client Plugin のインストール.....	15
アップグレードのインストール後の vSphere Web Client Plugin の登録.....	15
vSphere Web Client Plugin の削除.....	16
付録 A: DSITV アプリケーションのトラブルシューティング	17
RMSV のトラブルシューティング.....	17
RMSV の再起動.....	17
RMSV ログファイルの保存.....	18
vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング.....	18
Dell Storage のアイコンがない.....	18
プラグインの概要およびモニターページが無効になっている.....	18
スナップショットとスナップショットスケジュールの作成が失敗する.....	19
自動フェールオーバーを適用すると Live Volume を有効にできない.....	19
NFS データストア作成時の障害.....	19
Plugin の外部で作成された NFS データストアを管理する.....	19
vSphere Web Client ログファイルの表示.....	19
TLS に関連する登録の失敗.....	19

前書き

本書は、Dell Storage Integration Tools for VMware (DSITV) のインストールおよび以下のアプリケーション設定の手順を提供しています。

- Dell Replay Manager Service for VMware (RMSV)
- Dell Storage vSphere Web Client Plugin

トピック :

- [リビジョン履歴](#)
- [対象読者](#)
- [関連する出版物](#)
- [デルへのお問い合わせ](#)

リビジョン履歴

文書番号 : 680-131-001

表 1. リビジョン履歴

リビジョン	日付	説明
A	2017 年 2 月	DSITV バージョン 4.1 の一般使用可能なリリース

対象読者

本書は、Dell Storage Center、Dell Storage Manager、および Replay Manager について中級 ~ 上級レベルの知識を有する IT 技術者を対象としています。VMware vSphere Client、VMware vCenter、VMware ESXi の管理作業に精通していることも前提としています。

❶ **メモ:** 本書において、**Dell Storage Manager (2016 以降)** と **Enterprise Manager (2015 以前)** は同意語です。

関連する出版物

Dell ストレージ製品で使用されるクライアントアプリケーションについては、次のマニュアルを利用できます。

- 『*Dell Storage SC Series Best Practices with VMware vSphere 5.x-6.x*』(*VMware vSphere 5.x-6.x* での *Dell Storage SC Series* ベストプラクティス)
VMware vSphere を Storage Center と統合する際にユーザーが参照できる設定例、ヒント、推奨される設定、その他のストレージガイドラインを提供しています。本書は、いかに VMware が Dynamic Capacity、Data Progression、Data Reduction などの Storage Center 機能とやりとりを行うかについての、多くのよくある質問に答えています。
- 『*Dell Storage vSphere Web Client Plugin Administrator's Guide*』(*Dell Storage vSphere Web Client Plugin* 管理者ガイド)
VMware vSphere Web Client による Storage Center の管理において、どのように vSphere Web Client Plugin を使用するかを説明しています。
- 『*Dell Storage Manager Administrator's Guide*』(*Dell Storage Manager* 管理者ガイド)
Dell Storage Manager の設定および管理手順を提供しています。Dell Storage Manager では、レプリケーションや障害復旧 (DR) サイトのセットアップや監視を含む、エンタープライズレベルでの複数 Storage Center を管理できます。また、システムが提供する各種パフォーマンスレポートおよびカスタムレポートの作成機能も提供しています。
- 『*Replay Manager Administrator's Guide*』(*Replay Manager* 管理者ガイド)
Replay Manager のインストール方法およびサーバー上のデータのバックアップおよび復元のためのソフトウェア使用方法を説明しています。

デルへのお問い合わせ

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへのお問い合わせは、dell.com/support にアクセスしてください。

DSITV のインストール

DSITV では、Replay Manager Service for VMware および vSphere Web Client Plugin と VMware vSphere との統合を行います。

- Dell Replay Manager Service for VMware (RMSV) は、VMware 仮想マシンおよびデータストアの一貫したスナップショットを可能にします。Dell Replay Manager Service for VMware を設定するには、「[RMSV の設定](#)」を参照してください
- Dell Storage vSphere Web Client Plugin は、ストレージ Administrator が VMware vSphere Client で Dell ストレージを管理できる機能を提供する、VMware vCenter のプラグインです。Dell Storage vSphere Web Client Plugin を VMware vCenter Server にインストールする方法については、「[Dell Storage vSphere Web Client Plugin のインストール](#)」を参照してください

トピック :

- [インストール要件](#)
- [DSITV の導入](#)
- [DSITV のセットアップ](#)
- [DSITV のアップデート](#)
- [DSITV の再起動](#)

インストール要件

『*Dell Storage Integration Tools for VMware Release Notes*』(Dell Storage Integration Tools for VMware リリースメモ) には、DSITV のインストールに必要なハードウェアおよびソフトウェアの最小要件が記載されています。

VMware プラットフォームのインストールおよび設定の詳細に関しては、次のアドレスを参照してください。

www.vmware.com/support

DSITV の導入

DSITV 仮想アプライアンスは、OVA (Open Virtual Appliance) ファイルとして提供されます。OVA ファイルの名前は DSITV-04.01.00.nnn.ova であり、**Deploy OVF Template** (OVF テンプレートの導入) ウィザードを使用して VMware vCenter Server に導入されます。

手順

- 1 vSphere Client を起動して、VMware vCenter Server に接続します。
- 2 vSphere Client で **VMs and Templates** (VM およびテンプレート) を選択します。
- 3 **Actions (アクション) > Deploy OVF Template (OVF テンプレートの導入)** を選択します。
Deploy OVF Template (OVF テンプレートの導入) ウィザードが開きます。
- 4 **Deploy from a file or URL** (ファイルまたは URL からの導入) フィールドで DSITV-04.01.00.nnn.ova ファイルの場所を指定します。
- 5 **Next (次へ)** をクリックします。
OVF Template Details (OVF テンプレートの詳細) ページが開きます。
- 6 **Next (次へ)** をクリックします。
End User License Agreement (エンドユーザーライセンス契約) ページが開きます。
- 7 使用許諾契約を読み、**Accept** (同意する) をクリックします。
- 8 **Next (次へ)** をクリックします。

- Name and Location** (名前と場所) ページが開きます。
- 仮想アプライアンスの名前および場所を指定します。
 - (オプション) **Name** (名前) フィールドで仮想アプライアンスの名前を変更します。仮想アプライアンスのデフォルト名は、*Dell Storage Integration Tools for VMware* です。
 - (オプション) **Inventory Location** (インベントリの場所) ペインで、仮想アプライアンスを導入するフォルダを選択します。
 - Next** (次へ) をクリックします。

Host/Cluster (ホスト/クラスタ) ページが開きます。
 - 仮想アプライアンスを導入するホストまたはクラスタを選択します。

クラスタを選択した場合、**Next** (次へ) をクリックして仮想アプライアンスを導入するクラスタ内のホストを選択します。
 - Next** (次へ) をクリックします。

Storage (ストレージ) ページが開きます。
 - DSITV 仮想マシンファイルの保存先ストレージを選択します。
 - Next** (次へ) をクリックします。

Disk Format (ディスクフォーマット) ページが開きます。
 - 仮想ディスクのフォーマットを選択します。
 - Next** (次へ) をクリックします。
 - ネットワークマッピングが必要な場合は、**Network Mappings** (ネットワークマッピング) ページでソースネットワークを宛先ネットワークにマッピングし、**Next** (次へ) をクリックします。**Ready to Complete** (準備完了) ページが開き、仮想アプライアンスの導入設定が表示されます。
 - ネットワークマッピングが不要な場合は、**Ready to Complete** (準備完了) ページが開き、仮想アプライアンスの導入設定が表示されます。
 - Finish** (終了) をクリックします。

ダイアログボックスが開いて導入の進行状況が示されます。
 - Completed Successfully** (正常に完了) メッセージが表示されたら、**Close** (閉じる) をクリックします。

次の手順

DSITV が導入される Storage Center ボリュームに日次 Replay プロファイルを割り当て、DSITV 仮想アプライアンスの復旧を行います。

DSITV のセットアップ

DSITV を展開した後、DSITV 仮想アプライアンスで時刻を設定後、仮想アプライアンスにログオンしてタイムゾーンおよびネットワークを設定します。

- [DSITV 仮想アプライアンスの時刻設定](#)
- [DSITV へのログイン](#)
- [DSITV の設定](#)

DSITV 仮想アプライアンスの時刻設定

ESXi ホスト上の時間が正しいことを確認してから、DSITV 仮想アプライアンスを設定して、時刻を ESXi ホストと同期します。

- vSphere Client を起動して、VMware vCenter Server に接続します。
- View (表示) > Inventory (インベントリ) > Hosts and Clusters (ホストおよびクラスタ)** の順に選択します。

Hosts and Clusters (ホストとクラスタ) ビューが開きます。
- ESXi ホストを選択し、**Configuration (設定)** タブをクリックします。
- Time Configuration (時刻設定)** をクリックします。

Time Configuration (時刻設定) ページが開きます。
- Properties (プロパティ)** をクリックします。

Time Configuration (時刻設定) ダイアログボックスが開きます。
- 時刻または日付が正しくない場合は、適切なフィールドに正しい時刻または日付を入力します。

- 7 **OK** をクリックします。
- 8 **View (表示) > Inventory (インベントリ) > VMs and Templates (VM およびテンプレート)** の順に選択します。
Virtual Machines & Templates (仮想マシンおよびテンプレート) ビューが開きます。
- 9 DSITV 仮想アプライアンスファイルを右クリックし、**Edit Settings (設定の編集)** を選択します。
Virtual Machine Properties (仮想マシンのプロパティ) ダイアログボックスが開きます。
- 10 **Options (オプション)** タブをクリックして、**VMware Tools (VMware ツール)** オプションを選択します。
- 11 **Synchronize guest time with host (ゲストの時刻をホストと同期する)** チェックボックスが選択されていることを確認します。
- 12 **OK** をクリックします。

DSITV へのログイン

DSITV にログインするには、vSphere Client を使用します。

- 1 vSphere Client を起動して、VMware vCenter Server に接続します。
- 2 **View (表示) > Inventory (インベントリ) > View (表示) > VMs and Templates (VM およびテンプレート)** の順に選択します。
Virtual Machines & Templates (仮想マシンおよびテンプレート) ビューが開きます。
- 3 DSITV 仮想アプライアンスを右クリックして、**Open Console (コンソールを開く)** を選択します。
- 4 仮想アプライアンスが実行されていない場合、**VM > Power (電源) > Power On (電源オン)** を選択します。
- 5 ログインプロンプトが表示されたら、DSITV ログイン認証情報を入力します。

ログインすると、以下のような CLI メニューが表示されます。

```
#####
# Welcome to Dell Storage Integration Tools for VMware #
# Version - 4.x.x.x #
#####
```

Item	Status
1. Set the time zone (Current: UTC)	Unset
2. Configure network (eth0)	Unset
3. Configure RMSV	Unset
4. Register vSphere Web Client Plugin with vCenter	
5. Unregister vSphere Web Client Plugin with vCenter	
11. Restart Replay Manager for VMware (RMSV)	
12. Reboot appliance	
13. Change root password	
14. Customer support	
15. Update appliance	
16. Logout	

Enter selection [1 - 16]:

- a ログインプロンプトに **root** と入力し、Enter を押します。
- b パスワードプロンプトで **Fluid** (大文字小文字の区別あり) を入力し、Enter を押します。
ログイン後、DSITV コマンドラインインタフェース (CLI) プロンプトが表示されます。

DSITV の設定

初めて DSITV にログインした後、タイムゾーンおよびネットワーク設定を設定します。また、デルではこの時点で DSITV のルートパスワードを変更することをお勧めします。

DSITV のタイムゾーン設定

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**1**と入力し、Enter を押します。
- 3 地理的な場所を使用してタイムゾーンを指定します。
- 4 正しいタイムゾーンが表示されたら、**1**と入力し、Enter を押して変更を保存します。
- 5 タイムゾーンが設定されたら、Enter を押してメインメニューに戻ります。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

DSITV のネットワーク設定

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**2**と入力し、Enter を押します。
- 3 DSITV のホスト名を入力して Enter を押します。
- 4 管理ネットワークの DSITV IP アドレスを入力して、Enter を押します。
- 5 管理ネットワークのネットワークマスクを入力して Enter を押します。
- 6 管理ネットワークのゲートウェイ IP アドレスを入力して、Enter を押します。
- 7 管理ネットワークの DNS サーバー IP アドレスを入力して、Enter を押します。
- 8 第 2 の DNS サーバーを指定するには、管理ネットワークの DNS サーバー IP アドレスを入力して Enter を押します。指定しない場合、Enter を押してこの手順をスキップします。
- 9 前のステップで入力した値が画面に表示されたら、**y**と入力し、Enter を押して変更を保存します。
- 10 ネットワーク設定が終了したら、Enter を押してメインメニューに戻ります。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

(オプション) DSITV の root パスワード変更

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**13**と入力し、Enter を押します。
- 3 新しい root パスワードを入力して Enter を押します。
- 4 新しい root パスワードを再度入力して Enter を押します。
- 5 root パスワードが変更されたら、Enter を押してメインメニューに戻ります。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

DSITV のアップデート

DSITV 仮想アプライアンスのアップデート版は、使用可能になると、仮想アプライアンスからインストールできるようになります。DSITV がダークサイトにインストールされている場合は、「[ダークサイトにおける DSITV のアップデート](#)」を参照してください。

DSITV 現在のバージョンの表示

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**15** と入力し、Enter を押します。次のオプションが表示されます。

```
-----  
1. Appliance version  
2. Check for updates  
3. Install update  
4. Return to main menu
```

```
Enter selection [1 - 4]:
```

- 3 **1** を入力して Enter を押します。仮想アプライアンスの現在のバージョンが表示されます。

```
Version - 04.xx.xx.xxx
```

```
Description - Updates to the Dell Storage Integration  
Tools for VMware appliance
```

```
press [enter] to continue...
```

- 4 Enter を押して仮想アプライアンスのアップデートメニューに戻ります。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

DSITV のアップデートの確認

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**15** と入力し、Enter を押します。次のオプションが表示されます。

```
-----  
1. Appliance version  
2. Check for updates  
3. Install update  
4. Return to main menu
```

```
Enter selection [1 - 4]:
```

- 3 **2** を入力して、Enter を押します。
 - アップデートが見つからない場合は、次のメッセージが表示されます。
No available updates found
 - アップデートが見つかった場合、アップデートのバージョン番号が表示されます。
- 4 Enter を押して仮想アプライアンスのアップデートメニューに戻ります。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

DSITV へのアップデートのインストール

前提条件

△ | **注意:** DSITV をアップデートする前に、バックアップが予定されていないこと、または復元動作中でないことを確認します。

手順

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**15** と入力し、Enter を押します。次のオプションが表示されます。

```
-----  
1. Appliance version  
2. Check for updates  
3. Install update  
4. Return to main menu
```

```
Enter selection [1 - 4]:
```

- 3 **3** を入力して、Enter を押します。
 - アップデートが見つからない場合は、次のメッセージが表示されます。
No available updates found
 - アップデートが見つかった場合、アップデートのバージョン番号が表示され、アップデートがインストールされます。
- 4 Enter を押して仮想アプライアンスのアップデートメニューに戻ります。
- 5 **16** と入力して Enter を押し、DSITV からログアウトします。
- 6 ログインプロンプトが表示されたら、DSITV に再度ログインします。

次の手順

- 1 アップデートのインストール後に、DSITV アプライアンスを再起動します。アップデート直後は、バージョン番号が更新されないことがあります。このアクションによって、バージョン番号も更新されます。
- 2 DSITV アプライアンスの再起動後、DSITV アプライアンスの CLI メニューから vSphere Web Client Plugin の登録解除および登録を行います。このアクションによって、古いプラグインが削除され、新しいプラグインが vCenter に登録されます。
- 3 Replay Manager Explorer が Replay Manager Service とともにサーバにインストールされている場合は、DSITV のアップデート後に Replay Manager Service を再起動します。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

[DSITV の再起動](#)

ダークサイトにおける DSITV のアップデート

DSITV がインターネットにアクセスできないサイトにインストールされている場合、DSITV のアップデートをデルテクニカルサポートから取得する必要があります。その後で内蔵ウェブサーバを使用してアップデートを使用できるようにするか、または仮想アプライアンスに直接コピーすることができます。

ウェブサーバーへのアップデートのコピー

- 1 デルテクニカルサポートに問い合わせ、最新の DSITVUpdate.zip ファイルを取得します。
- 2 DSITVUpdate.zip ファイルの内容を、ウェブサーバのルートディレクトリにある dsitvupdate という名前のフォルダに解凍します。
たとえば、ウェブサーバのルートディレクトリが C:\inetpub\wwwroot の場合、zip ファイルの内容を C:\inetpub\wwwroot\dsitvupdate に解凍します。
- 3 ウェブブラウザを使用して http://web_server_address/dsitvupdate/manifest/manifest-latest.xml に移動し、アップデートへのアクセスを確認します。
- 4 DSITV にログインします。
- 5 **99** と入力して Enter を押し、インタラクティブシェルにアクセスします。
- 6 `/etc/hosts` ファイルを開きます。
- 7 ホストファイルの終わりに以下のエントリを追加します。

```
citv.compellent.com[IP_address_of_web_server]
```
- 8 変更を `hosts` ファイルに保存し、**exit** (終了) と入力して CLI に戻ります。

- 「DSITV のアップデート」の説明に従って、アップデートをインストールします。

関連するリンク

[DSTV へのログイン](#)

仮想アプライアンスへのアップデートのコピー

- デルテクニカルサポートに問い合わせて、最新の DSITVUpdate.zip ファイルを取得します。
- インターネットにアクセスできるコンピュータを使用して、仮想アプライアンスのオペレーティングシステムである CentOS リリース 6.7 の unzip ツールをダウンロードします。
- セキュアコピー (SCP) を使用して DSITVUpdate.zip ファイルをコピーし、ローカルコンピュータから仮想アプライアンスに RPM ファイルを解凍します。
- DSITV にログインします。
- 99** と入力して Enter を押し、インタラクティブシェルにアクセスします。
- unzip ツールをインストールするには、次のコマンドを入力します。

```
rpm -ivh [unzip_package_name].rpm
```
- ルートディレクトリに DSITVUpdate.zip という名前のディレクトリを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
mkdir dsitvupdate
```
- アップデートファイルを DSITVUpdate.zip ディレクトリに解凍するには、次のコマンドを入力します。

```
unzip DSITVUpdate.zip -d dsitvupdate
```
- /opt/vmware/var/lib/vami/update/provider/provider-deploy.xml ファイルを開きます。
- 文字列 `http://citv.compellent.com/` を検索して、`file:///root/dsitvupdate` に変更します。
- 変更内容を `provider-deploy.xml` ファイルに保存し、**exit** (終了) を入力して CLI に戻ります。
- 「DSITV のアップデート」の説明に従って、アップデートをインストールします。

関連するリンク

[DSTV へのログイン](#)

DSITV の再起動

前提条件

△ | 注意: DSITV の再起動前に、バックアップが予定されていないこと、または復元動作中でないことを確認します。

手順

- DSITV にログインします。
- CLI プロンプトで、**12** と入力し、Enter を押します。
- y** と入力し、Enter を押します。次のメッセージが表示されます。

```
Broadcast message from root...

The system is going down for reboot NOW!
```
- ログインプロンプトが表示されたら、DSITV に再度ログインします。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

Replay Manager Service for VMware

Replay Manager Service for VMware (RMSV) を使用すると、Replay Manager は VMware vCenter と通信して、Dell Storage Center 上に VMware 仮想マシンおよびデータストアの整合 Replay を作成できます。

RMSV のデータ移行

CITV の 4.0 リリース (現在 DSITV と呼ばれる製品の以前の名前) はベースオペレーティングシステムにメジャーアップデートを導入し、CITV 3.1 仮想アプライアンスから CITV 4.0 仮想アプライアンスへの並行アップデートが必要です。DSITV は CITV 4.0 と同じベースのオペレーティングシステムを使用します。CITV 4.0 から DSITV 4.1 にアップグレードしてもベースオペレーティングシステムには影響ありません。CITV 4.0 で使用する同じオペレーティングシステムが DSITV 4.1 でも使われます。ただし、CITV 3.1 から DSITV 4.1 にアップグレードすると RMSV データの移行が行われます。

RMSV 設定プロセス中に CITV 3.1 で作成した RMSV データを DSITV 4.1 に移行する選択を行うことができます (「[RMSV の設定](#)」を参照)。DSITV は、次の条件のいずれかが満たされない限り、データの移行を求めるプロンプトを表示します。

- すでに CITV 3.1 から DSITV 4.1 にデータを移行した。
- 以前のデータを移行せずに、DSITV 4.1 を設定することにした。

RMSV の設定後は、データ移行オプションが表示されなくなり、以前のリリースからデータを移行できなくなります。

① | メモ: 各復元ポイントによって、データ移行の完了に要する時間が長くなります。

移行後、次のデータは DSITV 4.1 にアクセスできるようになります。

- 定義された Storage Center のリスト
- 電子メールサービスの設定とスナップショットの通知電子メール
- ライセンスのステータスとシリアル番号情報
- ジョブのスケジュール
- バックアップセットおよび復元ポイントのステータスレポート
- 関連する仮想マシンおよびデータストアのバックアップデータ

① | メモ: バージョン 3.1 より前の DSITV (CITV と呼ばれる) を実行している場合は、最初に以前のバージョンで使用可能なアップグレードオプションを使用して、CITV 3.1 にアップグレードする必要があります。その後、表示に従って CITV 3.1 から DSITV 4.1 にデータを移行できます。

RMSV の設定

Replay Manager が VMware vCenter と通信を行うためには、RMSV に VMware vCenter Server に関する情報を設定する必要があります。

前提条件

△ | 注意: 複数の DSITV 仮想アプライアンス上で RMSV の複数のインスタンスが単一の VMware vCenter Server と通信するように設定されている場合、VMware ESXi ホスト上でエラーが発生する可能性があります。RMSV の各インスタンスは、異なる VMware vCenter Server と通信するように設定する必要があります。

- DSITV を展開し、タイムゾーンおよびネットワーク設定を設定します。
- VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを特定します。
- 管理者権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名およびパスワードを特定します。
- CITV 3.1 から RMSV のデータを移行するかどうか決定します。詳細については、「[RMSV のデータ移行](#)」を参照してください。

手順

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**3** と入力し (**Install Update** (アップデートのインストール))、Enter を押します。
CITV 3.1 からアップグレードしている場合、DSITV が RMSV 設定プロセスを開始し、既存の CITV 3.1 アプライアンスからデータを移行するかどうか尋ねられます。移行するデータを備えた既存の CITV 3.1 がある場合は、ステップ 3 から続行します。それ以外の場合は、ステップ 4 から続行します。
- 3 データの移行を開始するには、プロンプトが表示されたら **y** と入力し、次の手順を続行します。

① | メモ: **すでに RMSV が設定されていたり、CITV 3.1 アプライアンスから移行が行われていたりする場合、移行オプションは使用できません。**

- a データの移行元にする CITV アプライアンスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
DSITV がホストを認証し、接続を続行するかどうか尋ねられます。
 - b 接続続行の確認を求められたら、**yes** と入力します。
DSITV は、既知のホストのリストにホストを追加し、そのホスト上の Replay Manager を停止して RMSV データファイルのコピーを開始します。
 - c ファイルが移行されたら、DSITV はホスト上の Replay Manager を無効にし、Replay Manager を再起動して、データの移行が完了したことを示します。ステップ 4 から続行します。
- 4 VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを入力して、Enter を押します。
 - 5 Administrator 権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名を入力し、Enter を押します。
 - 6 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力して Enter を押します。
 - 7 パスワードを確認するためにパスワードを再度入力して Enter を押します。
 - 8 **11** を入力して、Enter を押します。

RMSV は VMware vCenter Server に接続を試みます。Connected successfully (正常に接続されました) というメッセージが表示された場合は、ステップ 8 に進みます。Connection to vCenter failed (vCenter への接続に失敗しました) というメッセージが表示された場合は、サーバ情報を確認し、ステップ 4 ~ 7 を繰り返します。詳細については、「[RMSV のトラブルシューティング](#)」を参照してください。

① | メモ: **サーバ証明書メッセージが表示された場合は、y と入力して Enter を押し、証明書を信頼します。**

- 9 DSITV のホスト名および IP アドレス、ならびに管理者権限を有する VMware vCenter ユーザーのユーザー名およびパスワードを使用して VMware vCenter Server を Replay Manager Explorer に追加します。
VMware vCenter Server の Replay Manager への追加に関する詳細については、『*Replay Manager Administrator's Guide*』(Replay Manager 管理者ガイド) を参照してください。

① | メモ: **Replay Manager 管理ツール (Replay Manager Explorer など) が、DSITV 仮想アプライアンスへ接続しているコンピュータにインストールされている必要があります。**

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

Dell Storage vSphere Web Client Plugin

Dell Storage vSphere Web Client Plugin は、VMware vSphere Web Client で、ストレージ Administrator に Dell ストレージを管理する機能を提供するプラグインです。

Dell Storage vSphere Web Client Plugin のインストール

Dell Storage vSphere Web Client Plugin をインストールするには、VMware vCenter にプラグインを登録します。

前提条件

- DSITV を展開し、タイムゾーンおよびネットワーク設定を設定します。
- VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを特定します。
- 管理者権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名およびパスワードを特定します。
- Dell Storage Manager Data Collector が Storage Center と通信していることを確認してください。

手順

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**4** と入力し、Enter を押します。
- 3 VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを入力して、Enter を押します。
- 4 管理者権限を持つ VMware vCenter Server ユーザーのユーザー名を入力して、Enter を押します。
- 5 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力して Enter を押します。
- 6 必要に応じてパスワードを確認するためにパスワードを再度入力して Enter を押します。

① | メモ: サーバ証明書メッセージが表示された場合は、**y** と入力して Enter を押し、証明書を信頼します。

- 7 DSITV のホスト名または IP アドレスを入力して、Enter を押します。
- 8 **y** を入力して、Enter を押します。
- 9 vSphere Web Client Plugin がインストールされたら、Enter を押してメインメニューに戻ります。

vSphere Web Client Plugin の管理と使用の詳細については、『*Dell Storage vSphere Web Client Plugin Administrator's Guide*』(Dell Storage vSphere Web Client Plugin 管理者ガイド) を参照してください。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

アップグレードのインストール後の vSphere Web Client Plugin の登録

DSITV アプライアンスのアップグレードの実行後は、再起動が必要です。その後、DSITV アプライアンスの CLI メニューから vSphere Web Client Plugin の登録を外して、再登録する必要があります。これによって、古いプラグインが削除され新しいプラグインが vCenter に登録されます。

このステップの実行後、Dell Storage アイコンが vSphere Web Client に表示されない場合は、vSphere Web Client サービスを再起動してください。[「vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング」](#)を参照してください。

vSphere Web Client Plugin の削除

vSphere Web Client Plugin を削除するには、プラグインの登録を VMware vCenter から外します。

前提条件

- VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを特定します。
- 管理者権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名およびパスワードを特定します。

手順

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**5**と入力し、Enter を押します。
- 3 VMware vCenter のホスト名または IP アドレスを入力して、Enter を押します。
- 4 管理者権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名を入力して、Enter を押します。
- 5 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力して Enter を押します。
- 6 **y**を入力して Enter を押し、vSphere Web Client Plugin を削除します。
- 7 vSphere Web Client Plugin を削除した後、Enter を押してメインメニューに戻ります。
- 8 VMware vCenter Web Client 内の変更を表示するには、ログアウトして、再びログインします。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

DSITV アプリケーションのトラブルシューティング

DSITV アプリケーションでの問題を処理するには、次の手順を実行します。

- Dell Replay Manager Service for VMware の問題をトラブルシューティングするには、RMSV トラブルシューティング手順を使用します。
- Dell Storage vSphere Web Client Plugin の問題をトラブルシューティングするには、vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング手順を使用します。

トピック：

- [RMSV のトラブルシューティング](#)
- [vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング](#)

RMSV のトラブルシューティング

Replay Manager が VMware vCenter Server に接続できない場合：

- VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスが正しいこと、および VMware vCenter Server ユーザーが管理者権限を持っていることを検証します。「[RMSV の設定](#)」を参照してください。
- RMSV が実行されていることを検証します。「[RMSV ログファイルの保存](#)」を参照してください。

これ以上のトラブルシューティングが必要な場合、デルテクニカルサポートでは、分析のために RMSV のログのコピーが必要になる場合があります。「[RMSV ログファイルの保存](#)」を参照してください。

RMSV の再スタート

CLI でオプション **11** を使用して RMSV を再スタートし、起動するか検証します。

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**11** と入力し、Enter を押します。次のメッセージが表示されます。

```
Waiting 15 seconds for the service to restart  
Starting replaymanager: [ OK ]
```

RMSV is stopped and restarted. (RMSV が停止し、再スタートしました)

- [OK] が表示された場合は、RMSV が正常に開始されています。
- [Failed] (失敗) が表示された場合は、RMSV が開始に失敗しています。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

RMSV ログファイルの保存

CLI でオプション **14** を使用して RMSV ログファイルを zip ファイルに保存します。

- 1 DSITV にログインします。
- 2 CLI プロンプトで、**14** と入力し、Enter を押します。次のオプションが表示されます。

```
1. Gather support information
2. Return to main menu
Enter selection [1 - 2]:
```
- 3 **1** を入力して、Enter を押します。ログの zip ファイルが仮想アプライアンスのルートディレクトリに保存されます。
- 4 セキュアコピー（SCP）を使用して、仮想アプライアンスからローカルコンピュータに zip ファイルをコピーします。
zip ファイルがローカルコンピュータ上にあれば、デルテクニカルサポートに送信することができます。

関連するリンク

[DSITV へのログイン](#)

vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング

Dell Storage のアイコンがない

Dell Storage のアイコンが vSphere Web Client の **Administration**（管理）ペインに表示されない場合は、以下を行います。

- VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスが正しいこと、および VMware vCenter Server ユーザーが管理者権限を持っていることを検証します。[RMSV の再スタート](#) を参照してください。
- vSphere Web Client Plugin が実行されていることを確認します。[Dell Storage vSphere Web Client Plugin のインストール](#) を参照してください。
- vSphere Web Client サービスを再スタートします。
 - Windows ベースの vCenter Server の場合、vSphere Web Client サービスを再スタートするには、**Server Manager > Services（サービス） > VMware vSphere Web Client service（VMware vSphere Web Client サービス）** にアクセスします。**Restart（再スタート）** を選択してサービスを再スタートします。
 - Linux ベースの vCenter Server アプライアンスの場合、以下のコマンドのいずれかを使用してサービスを再スタートします。
 - `service vsphere-client restart`
 - `/etc/init.d/vsphere-client restart`

これ以上のトラブルシューティングが必要な場合、デルテクニカルサポートでは、分析のために vSphere Web Client のログファイルのコピーが必要になる場合があります。[vSphere Web Client ログファイルの表示](#) を参照してください。

プラグインの概要およびモニターページが無効になっている

概要情報は、vSphere Web Client Plugin に表示されない可能性があります。サマリページ（**Summary**（サマリ）タブ、**Dell Storage**（Dell ストレージ）タブの順に選択）およびモニターページ（**Monitor** タブは、**Dell Storage**（Dell ストレージ）タブの順に選択）で、情報が空白で表示されます。

vCenter Server および Dell Storage Manager の設定の **Manage**（管理）タブに入力した資格情報が正しいことを確認します。

スナップショットとスナップショットスケジュールの作成が失敗する

NFS データストアを使用して、スナップショットまたはスナップショットスケジュールを作成する場合は、NFS データストアが、FluidFS v5 システム上でホストされていることを確認してください。

自動フェールオーバーを適用すると Live Volume を有効にできない

自動フェールオーバーおよびセカンダリボリュームの昇格を設定している Live Volume では、次の要件が満たされていない場合に失敗することがあります。

- Type (タイプ) が Synchronous (同期)
- Synchronous (同期) モードは高可用性です
- ソースおよびターゲットの Storage Center がバージョン 6.7 以降

これらの要件を満たしているデータストアまたは RDM を選択します。必要に応じて、これらの要件を満たすようにデータストアを変更するか、または新しいデータストアまたは RDM を作成します。

NFS データストア作成時の障害

データストアを作成するために既存の NFS エクスポートを使用している場合、必要な ACL が NFS エクスポート用に事前設定されていることを確認します。

Plugin の外部で作成された NFS データストアを管理する

vSphere Web Client Plugin の外部で作成された NFS データストアの場合、少なくとも 1 度、対応するデータストアに Dell ストレージビューを起動したことを確認します。このアクションにより、NFS データストアの詳細情報を取得します。

また、vSphere Web Client Plugin を使用して、登録された Dell Storage Manager 設定でデータストアを検証できることを確認してください。

vSphere Web Client ログファイルの表示

詳細に関しては、以下の出版物を参照してください。

- vSphere Web Client のログファイルを表示するには、VMware Knowledge Base 文書「[Location of vSphere Web Client 5.x service logs \(2004090\)](#)」(vSphere Web Client 5.x サービスログの場所 (2004090)) を参照してください。
- ログレベルを変更するには、VMware Knowledge Base 文書「[Enabling debug logging on the VMware vSphere 5.x/6.0 Web Client service \(2011485\)](#)」(VMware vSphere 5.x/6.0 Web Client サービスでデバッグログを有効にする (2011485)) を参照してください。

TLS に関連する登録の失敗

vCenter Server が無効の TLS 1.0 で設定されている場合、vSphere Web Client Plugin プラグインの登録に失敗することがあります。